

第6次草津市総合計画



総合計画とは

【1】

総合計画

市政運営の最上位の計画

総合計画は「草津市自治体基本条例」に基づいて策定され、

“総合的かつ計画的なまちづくりの指針”として、本市の最上位計画に位置付けられています。

また、市民ニーズを的確に受け止め、自ら考え行動するといった自律性をもって市政運営に取り組んでいくため、市民の参加を得た計画の策定を行います。

【草津市自治体基本条例】（抜粋）

第13条 市は、市政運営の最上位の計画として市民の参加を得て総合計画を策定し、総合的かつ計画的に市政を運営しなければならない。

計画の構成と期間

【2】

総合計画は、「基本構想」と「基本計画」からなる二層構造となっています。

基本構想

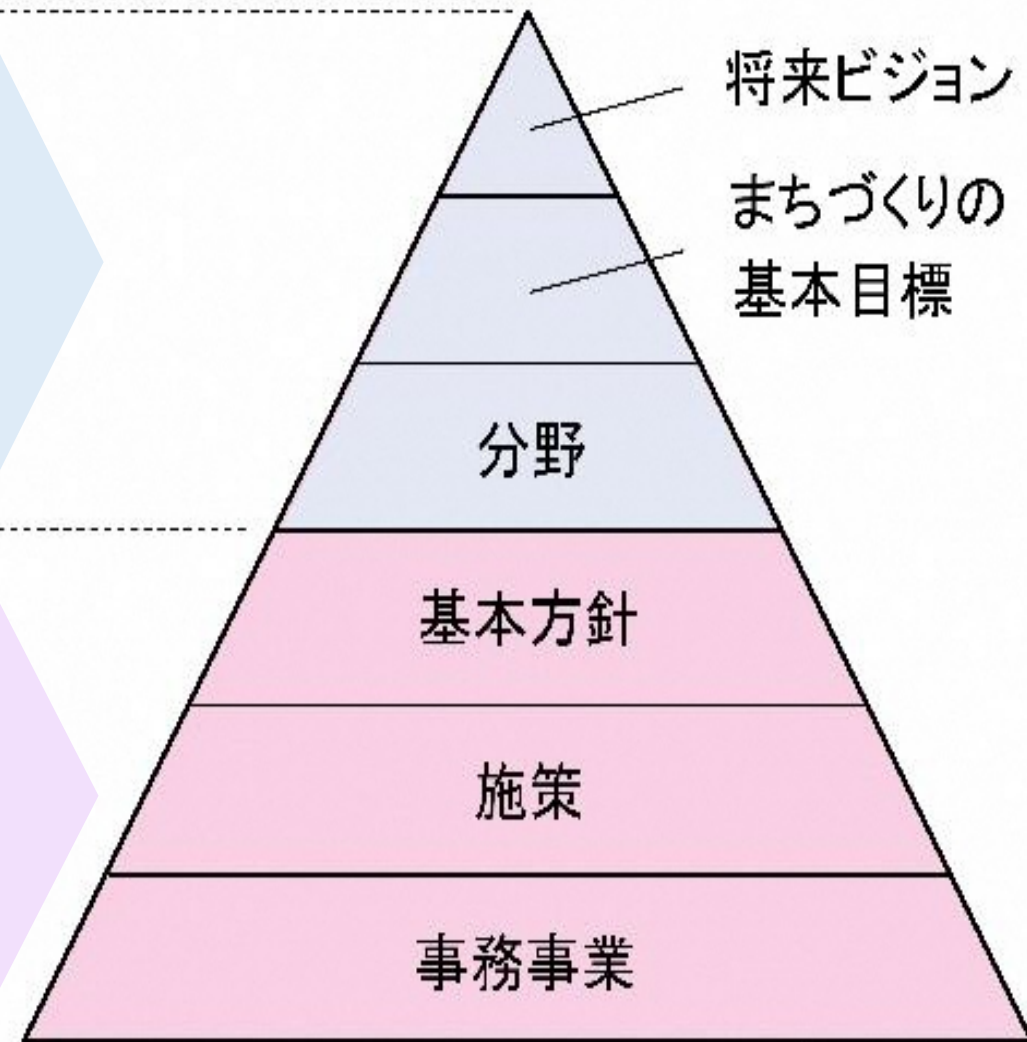
令和3(2021)年度から
令和14(2032)年度まで
の12年間

本市の目指すべき将来ビジョンを示し、その実現に向けたまちづくりの基本目標などを明らかにし、基本計画の方向づけを行うものです。

基本計画

1期4年の3期計画

基本構想に掲げる将来ビジョン、まちづくりの基本目標に基づき、各分野・基本方針の主要な施策、達成すべき目標や指標などを明らかにするものです。
なお、計画期間は、1期4年の3期計画としています。



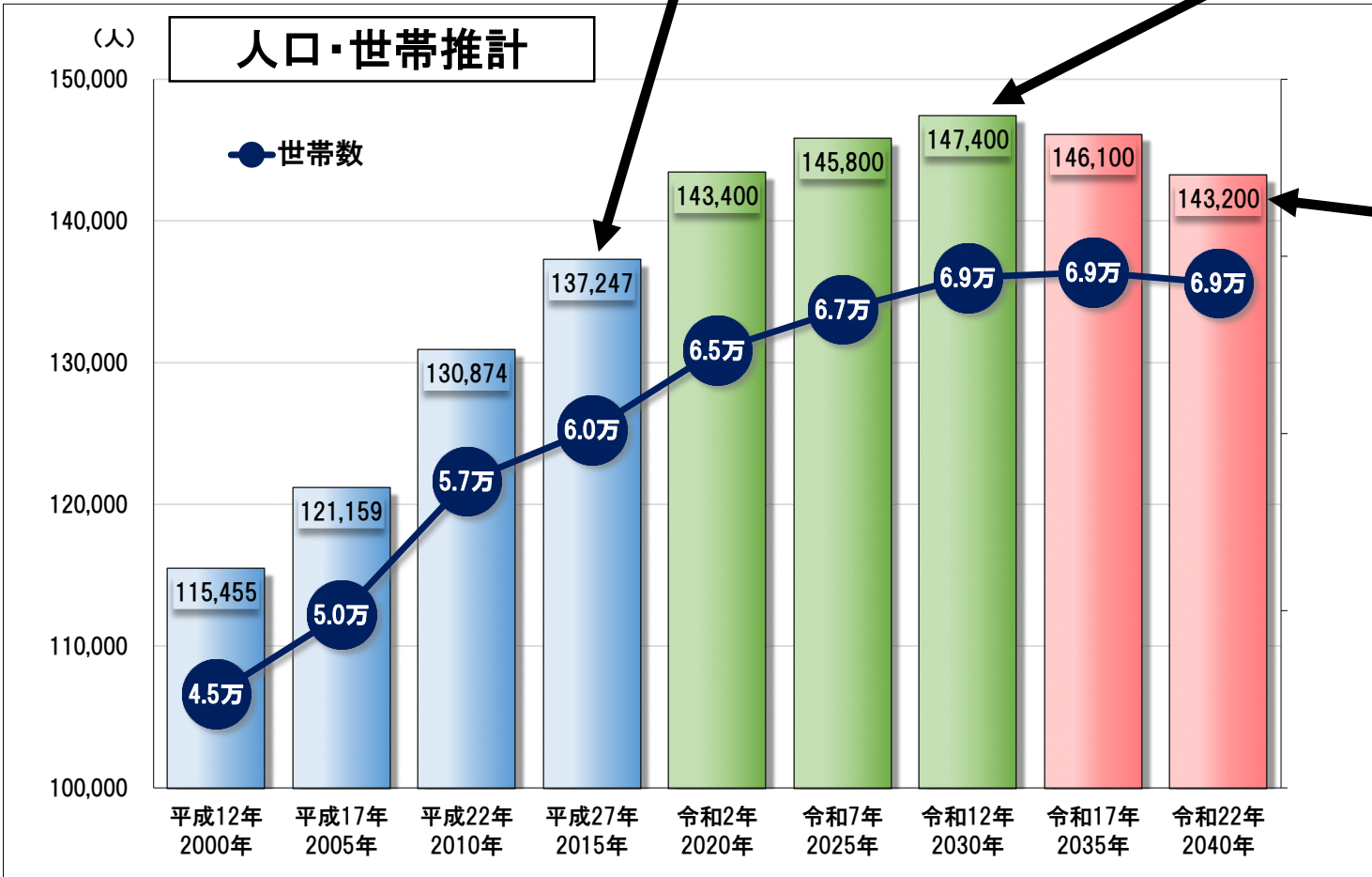
人口の見通し

本市の人口は、近年においても、人口増加傾向が続き、平成27（2015）**137,247人**（国勢調査）となっています。

本市の今後の推計では、依然継続して人口が増加し、令和12（2030）年には**147,400人**程度に達する見通しです。

しかし、その後は減少に転じ、令和22（2040）年には**143,200人**程度になると見込まれます。

本計画期間（2021－2032年）において、
本市でもいよいよ**人口減少社会**
が始まります。



社会情勢の変化

多様化・複雑化する諸課題

人口減少 少子高齢化

税収の減少

コミュニティの希薄化

異常気象・
大規模災害・
感染症の世界的大流行

社会資本の
老朽化

社会保障費
の増大

労働力(担い手)
の不足

etc



国を取り巻く社会情勢の急速な変化に伴い、本市を取り巻く状況も大きく変化していくことが予想されます。

第6次草津市総合計画の期間中には、本市においてもいよいよ人口減少局面を迎えることが予測されるとともに、生産年齢人口比率の低下や高齢化率の上昇が加速するなど、本市を取り巻く社会・経済・環境は目まぐるしく変化していく見通しです。

第6次草津市総合計画においては、このような諸課題にも柔軟かつ適切に対応するための取組を進めていく必要があります。

将来に描くまちの姿(各調査結果から)

【5】

【市民意識調査（将来の望ましい都市像）】

- 健康で元気に暮らせるまち
- 安全で安心して暮らせるまち
- 子育てサポートが充実しているまち

【高校生アンケート（将来の望ましい都市像）】

- すべての人にやさしいまち
- 趣味や娯楽、スポーツ活動が充実しているまち
- 教育環境が充実しているまち

【転入者アンケート調査（草津市に期待すること）】

- 住み心地の良い住環境の充実
- 医療・福祉サービスの充実



将来に描くまちの姿(各会議結果から)

【6】

【市民会議（将来住みたいまち）】

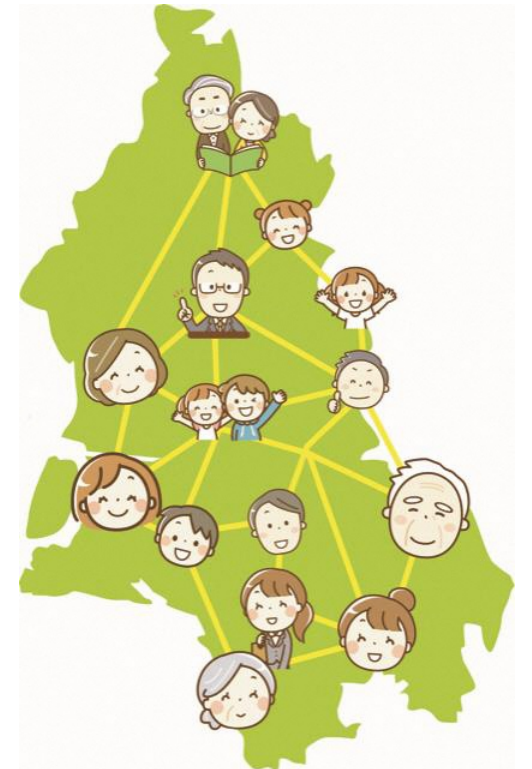
- 「ひとにやさしいまち」
- 「思いやりのあるまち」
- 「つなぐ、つながるまち」 など ⇒ “ひとやまちにやさしく、つながりがあるまち”

【地域別懇談会（進めたいこと）】

- 公共交通（バスなど）の充実
- 渋滞対策
- 地域コミュニティの活性化
- まちづくり協議会の進展 など

【中堅職員への意見照会（将来ビジョンのキーワード）】

- 「人と人・心と心のつながり」
- 「やさしさ」
- 「心寄せ合う」
- 「寄り添いあい」 など ⇒ “人と人のつながり”



第6次草津市総合計画での方向性の検討



《視点1》
本市のもつ強みに一層
の磨きをかけていく

「これからのまちづくりの方向性として」

「“住みよさ”を維持」「さらなる発展」「課題へ果敢に挑戦」
「“つながり”を大切にしながら未来を一步ずつ切り拓く」

ありがとう



《視点2》
人と人のつながりや思い
やりの醸成

ひと
- 人々のつながり -



《視点3》
ネットワークが充実したさら
に暮らしやすいまちづくり

まち
- 地域のつながり -



《視点4》
“誇りや愛着”の醸成

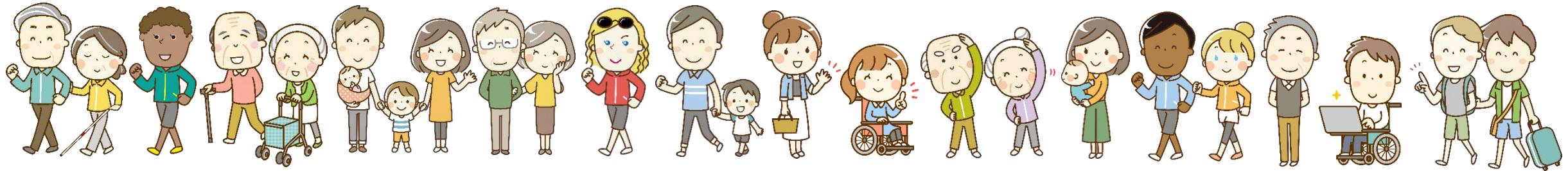
とき
- 時代のつながり -

将来に描くまちの姿



ひと・まち・ときをつなぐ

絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津



まちづくりの基本目標

【9】

協働の視点

SDGsの視点



「こころ」 育むまち

人権

男女共同参画

学校教育

生涯学習・スポーツ

歴史・文化

「笑顔」 輝くまち

コミュニティ

地域福祉

健康

子ども・子育て・若者

長寿・介護

障害福祉

「暮らし」 支えるまち

防災

生活安心・防犯

環境

交通

道路

上下水道

「魅力」 あふれるまち

農林水産

商工観光

都市形成

公園・緑地

情報・交流

「未来」 への責任

行財政マネジメント

草津市におけるSDGsの視点を取り入れた施策の展開

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



草津市では、総合計画において、SDGsという世界共通のものさしを用い、多様なステークホルダーとの連携の強化や目標の共有を図っていきます。

当市の基本方針ごとに関連するSDGsの17の目標を示し、取組をより一層進めることで、持続可能なまちの実現を目指します。

